



サノヤスホールディングス株式会社

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月13日

Sanoyas

- 1. 決算概要**
2. セグメント別業績
3. 中期経営計画
4. 株主還元

1.決算概要

増収増益、2019年3月期以来3期ぶりに黒字回復

(単位：百万円)	2021年 3月期	※新サノヤスグループ 2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期予想
売上高	44,628	18,713	19,148	21,000
営業利益	△ 5,267	△ 598	222	500
経常利益	△ 5,154	—	205	500
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 3,685	—	434	300

新サノヤスグループ
前年度対比

売上高
434百万円増

営業利益
821百万円増

※2021年2月末造船事業を譲渡後、新体制での業績を示しております。

1. 決算概要
- 2. セグメント別業績**
3. 中期経営計画
4. 株主還元

2-1.セグメント別業績・概要

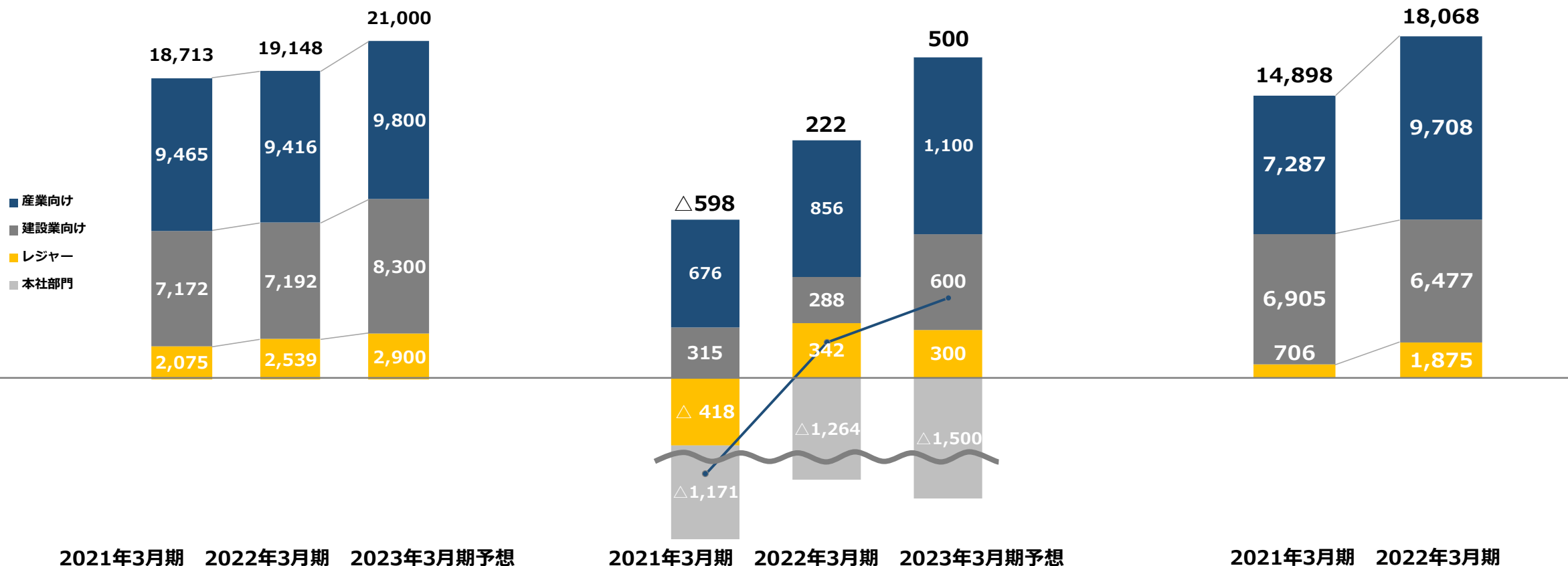
8事業会社における事業を産業向け・建設業向け・レジャーに分けて、3セグメントとして分析

(単位：百万円)

売上高

営業損益

受注高



サノヤス精密工業(株)

各種産業機械部品の製造及び組立
農機及び特装自動車用部品の製造及び組立



産業向けセグメント



みづほ工業(株)

各種タンクの設計及び施工



みづほ工業(株)

純水装置及び排水処理装置の製造



みづほ工業(株)

化粧品及び医薬品製造用の乳化装置及び攪拌機の製造



サノヤス・エンジニアリング(株)

ショットブラストマシンの
製造及び保守点検



サノヤス・エンテック(株)

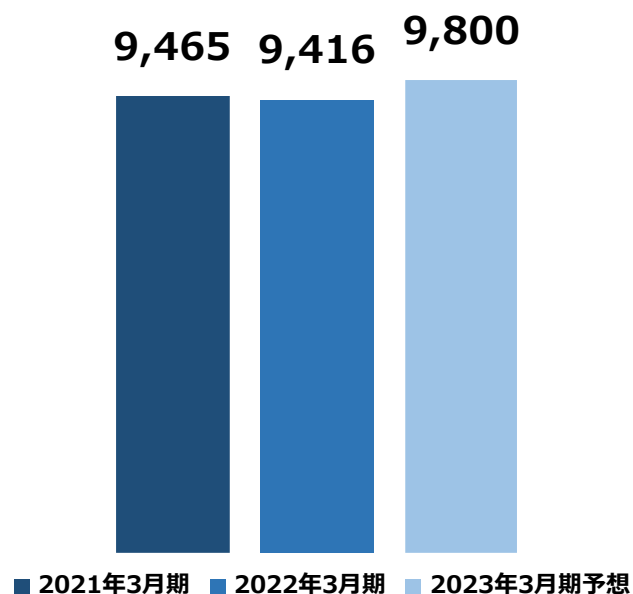
医療廃棄物処理装置の製造
環境衛生装置の製造及び保守点検

2-2.セグメント別業績・産業向け

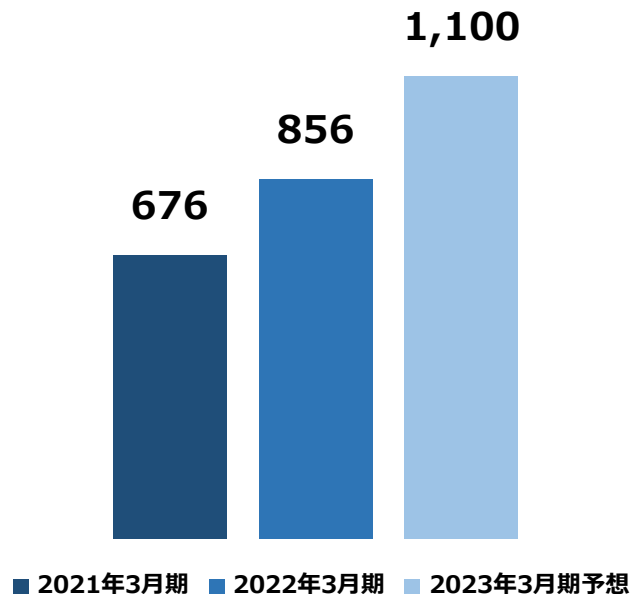
- ・各種産業機械部品および特装自動車用部品の工場がフル稼働状態を継続
- ・化粧品及び医薬品製造用の乳化装置及び攪拌機の製造は上期の受注不足を補いきれず売上高は微減収
- ・各種産業機械部品、化粧品及び医薬品製造用の乳化装置及び攪拌機、各種タンクの増益
- ・化粧品及び医薬品製造用の乳化装置及び攪拌機、各種タンク及びショットブラストマシンの受注増

(単位：百万円)

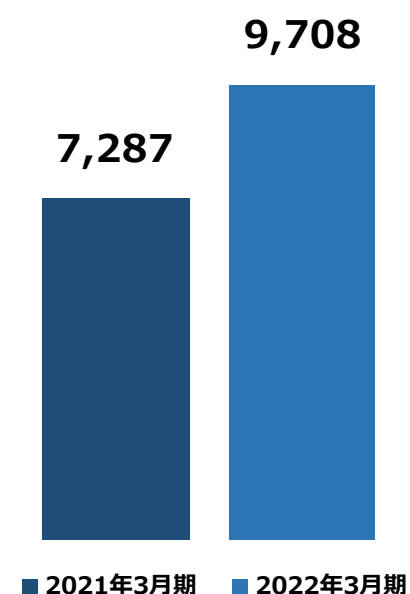
売上高



営業損益



受注高





サノヤス・エンジニアリング(株)
機械式駐車装置の製造及び保守点検

建設業向けセグメント



ハピネスデンキ(株)
電気機械器具製造及び電気工事



サノヤス・エンジニアリング(株)
建設工事用エレベーターの製造及びレンタル



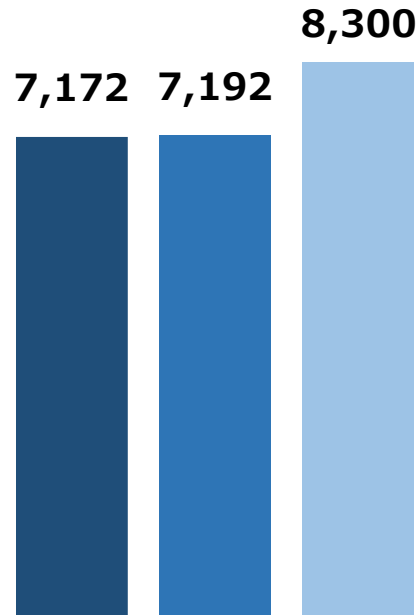
サノヤス・エンテック(株)
空調衛生給排水設備の設計及び施工

2-3.セグメント別業績・建設業向け

- ・電子部品・部材の調達が長納期化、高層ビル用の動力盤を主体とする電気機械器具製造及び電気工事に影響
- ・建設工事用エレベーターの製造及びレンタルと空調衛生給排水設備の設計及び施工により売上高は微増収も営業利益、受注については電気機械器具製造及び電気工事の影響を補いきれず

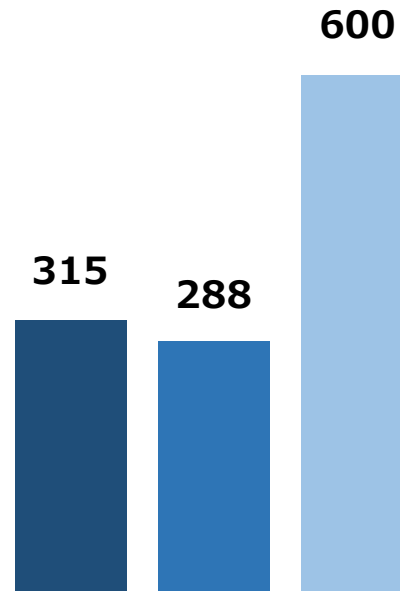
(単位：百万円)

売上高



■ 2021年3月期 ■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期予想

営業損益



■ 2021年3月期 ■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期予想

受注高



■ 2021年3月期 ■ 2022年3月期

東武動物公園



熊本グリーンランド



レジャーセグメント



ひらかたパーク



城島高原パーク



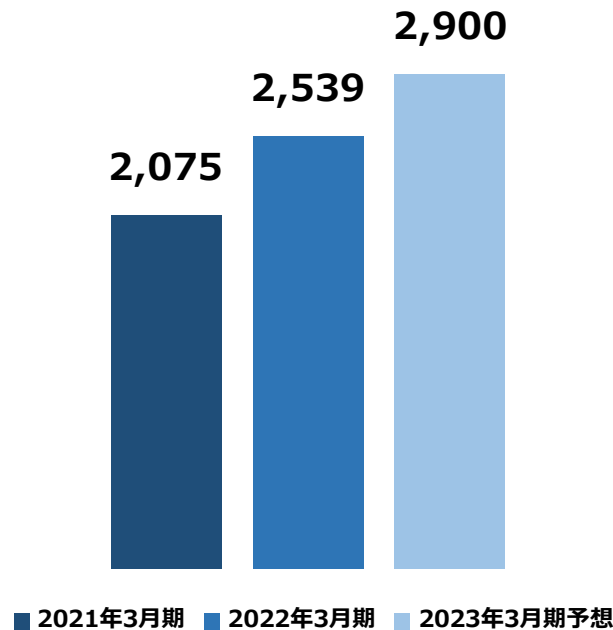
お台場パレットタウン

2-4.セグメント別業績・レジャー

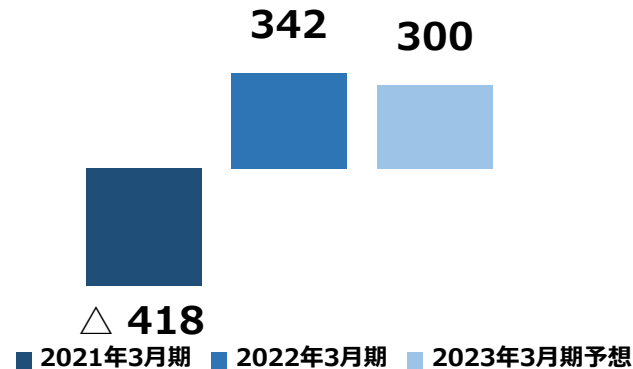
- ・緊急事態宣言の解除以降、利用客が戻り遊園地運営の売上高が大幅増加
- ・国内遊園地からの部品・修理のニーズが復活し営業黒字に転じる
- ・パレットタウン大観覧車が2022年8月31日営業終了（周辺施設は2021年12月より順次営業終了）
- ・東武動物公園から水上木製コースター「レジーナ」のリニューアル工事を受注

（単位：百万円）

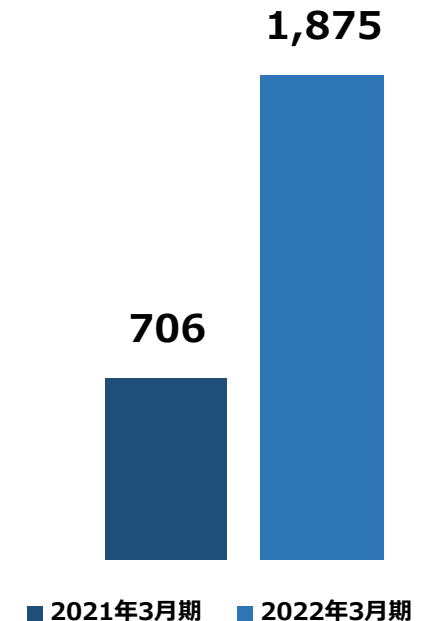
売上高



営業損益



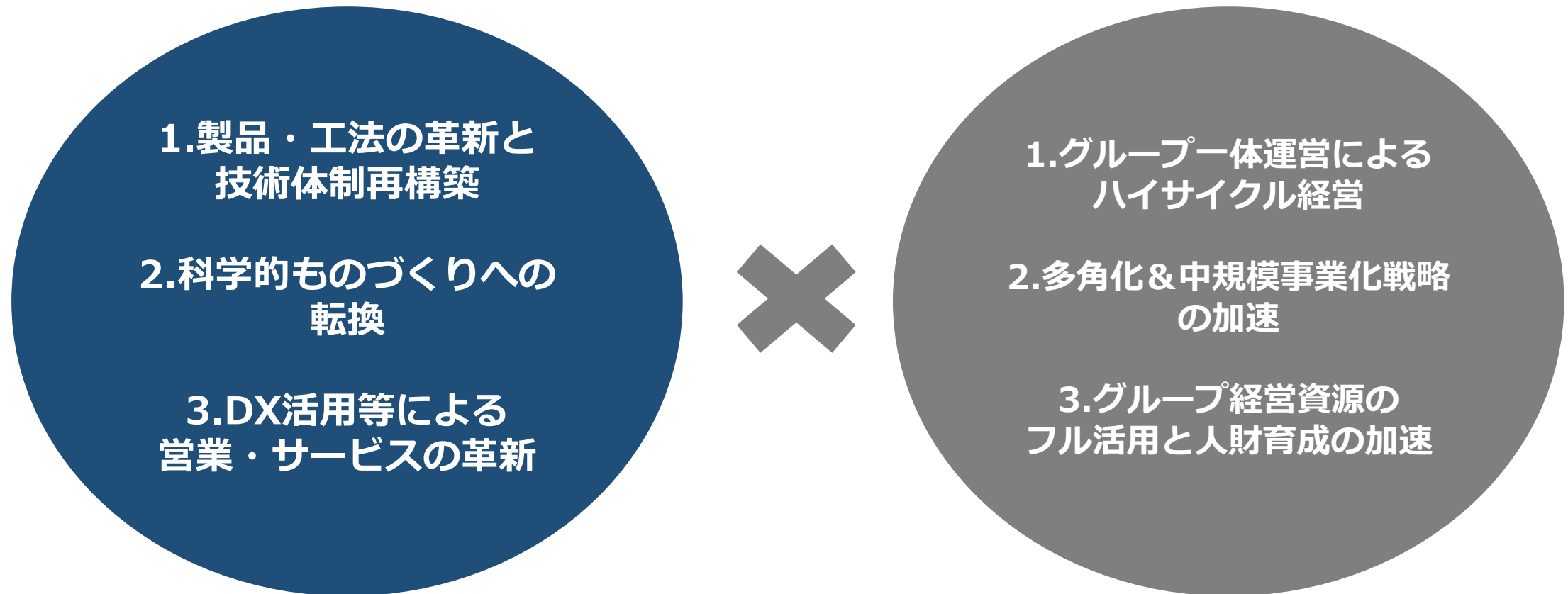
受注高



1. 決算概要
2. セグメント別業績
- 3. 中期経営計画**
4. 株主還元

3-1. 中期経営計画・目指す姿

技術オリエンテッド×ハイサイクル経営でニッチトップの集合体



3-2.中期経営計画・計数目標と進捗

2025年3月期

売上高**300**億円・経常利益率**6%**・ROE**10%**

2022年3月期より

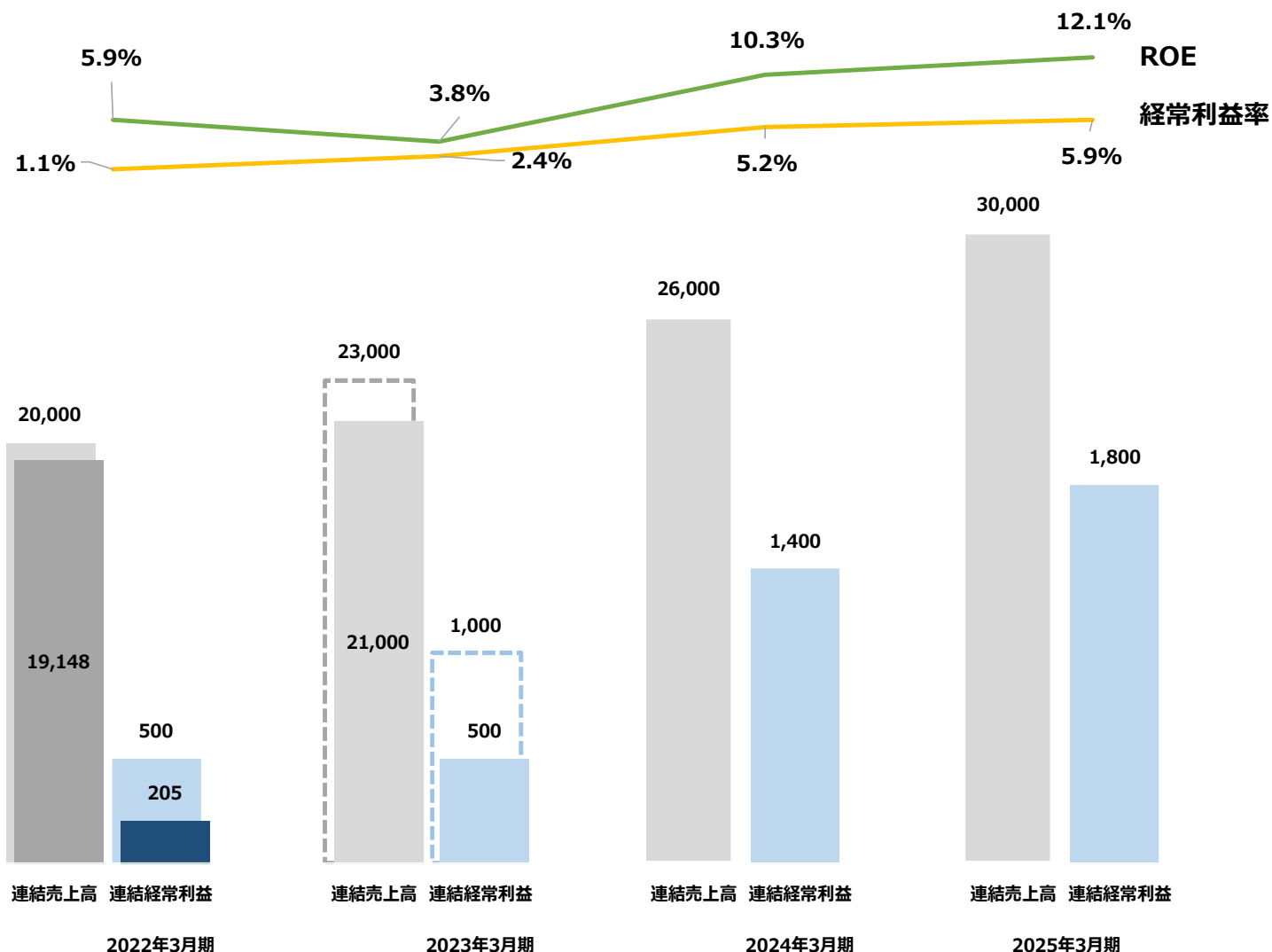
配当性向**30%**以上（最低**5**円配当）

（単位：百万円）

	2022年3月期		2023年3月期	
	目標	実績	公表値	修正値
売上高	20,000	19,148	23,000	21,000
経常利益	500	205	1,000	500
経常利益率	2.5%	1.1%	4.3%	2.4%
ROE	4.7%	5.9%	7.7%	※ 3.8%

コロナ影響による部品・部材の供給不足及び長納期化や原材料価格の上昇が継続するとみており、2023年3月期目標を修正しております。

※計算根拠として当年度末純資産額を使用しております。



3-3.中期経営計画・実現に向けて

ものづくり改革で各事業会社の発展・成長・変革を担う人づくり・仕組みづくり

サノヤスグループの技術開発、人財育成、品質・生産性向上を推進する様々な活動を通して中期経営計画の実現を目指します。

技術開発

- ・ 特許取得の推進
- ・ 産学協同プロジェクトの推進
- ・ 3D・CADによる標準化の推進
設計品質向上と効率アップ
- ・ CAE技術の導入
試作及び実機テストの削減

人財育成

- ・ ものづくり塾活動
製造・設計部門のシニア・若手リーダー育成
- ・ 若手技術者人財育成
技術スキルマップ
育成計画と組織の枠を超えた学びの場の提供

品質・生産性向上

- ・ 標準作業マニュアルの作成
技能伝承・新人教育
- ・ 品質5点セットの導入
- ・ QCサークル小集団活動
- ・ グループ品質会議

技術課題の解決・製造工程のカイゼン＝中期経営計画への貢献

3-4.中期経営計画・ESGの取り組み

重要課題（マテリアリティ）の特定について

当社は、サステナビリティ活動をグループ全社で持続的かつ体系的に推進し、中期経営計画 2021に掲げる

“環境（E）・社会（S）・企業統治（G）を重視した経営”を実践するため、サステナビリティ推進委員会を設置しております。

今般、下記の7項目を当社グループのESG経営の実践に向けた**重要課題（マテリアリティ）**として特定いたしました。

また、重要課題（マテリアリティ）のひとつである**「CO₂の排出削減」**について、

当社は予てより、生産プロセスの省エネ化をはじめ、工場・事務所の照明のLED化、遊休地での太陽光発電などに取り組んでまいりましたが、

今般、当社グループ全体の事業拠点におけるCO₂排出量（Scope1,2）の約8割を占める購入電力の使用によるCO₂の排出量を、

2030年に25%削減(2021年実績対比)、2050年に実質ゼロとすることを目標に、さらに意欲的に取り組むことにいたしました。

環境（E）

- ・ CO₂の排出削減
- ・ 環境保全に貢献する
製品・サービスの開発と提供
- ・ 廃棄物の削減

社会（S）

- ・ 安全・安心な
製品・サービスの提供
- ・ 価値を創造する
人財の採用、育成、活躍促進

企業統治（G）

- ・ D X等によるビジネスモデル、
業務プロセスの革新
- ・ 企業倫理の徹底と法令遵守

1. 決算概要
2. セグメント別業績
3. 中期経営計画
- 4. 株主還元**

4.株主還元

配当 一株当たり年間配当金 **5円**

株主優待

1.保有株式数**100株以上**の株主様

モザイクモール港北大観覧車ペア乗車券1枚（1年間有効）
パレットタウン大観覧車ペア乗車券1枚（2022年8月31日まで有効）

2.保有株式数**1,000株以上**の株主様

抽選で当たる遊園地チケット2枚（1年間有効）

ご応募いただいた株主様の中から抽選で300名の方に
次の中でご希望の遊園地の入園券とフリーパス2枚を贈呈いたします。

那須ハイランドパーク（栃木県） 東武動物公園（埼玉県）
ひらかたパーク（大阪府） グリーンランド（熊本県）





サノヤスホールディングス株式会社

**「確かな技術にまごころこめて」
～人と技術を磨き、新たな顧客価値を創出する～**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。